

<患者様向けの説明文書>

副作用で末梢神経障害（しびれなど）を来たす可能性がある薬物治療を行う患者様へ
研究参加のお願いです。

【研究内容】 サージカルグローブ着用が末梢神経症状軽減に与える影響

【目的】

末梢神経障害を来たす制がん剤治療においてサージカルグローブ（手術用手袋）着用により症状を軽減できるかどうか調べるのが目的です。

【対象患者様】

当科で施行した制がん剤治療でオキサリプラチン（L-OHP）、アブラキサン（nabPTX）、パクリタキセル（PTX）、ドセタキセル（DTX）を含むレジメンを使用し、研究にご協力いただける患者様です。

【方法】

制がん剤治療の当日、外来で点滴ルートを確認してからサージカルグローブを着用して制がん剤治療を行います。治療3時間後自宅で手袋を外して頂きます。

外来に来られた際に症状のチェックを行っていきます。

また、長期的な症状残存の程度を把握するために治療後3ヶ月、6ヶ月、1年、2年の段階で症状についてのアンケートをとることがあります。

【個人情報の使用について】

本研究で得られた個人情報が外部に洩れることのないよう厳重に管理し、データを使用する場合は完全に匿名化して用いるものとします。

途中で研究参加を辞退されても問題ありません。

何か不明な点がありましたら外科スタッフへお訊ねください。

問い合わせ連絡先

災害医療センター

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256 番地

所属・担当者名：消化器乳腺外科 高橋 深幸

電話番号：042-526-5511 【受付時間】9：00-17：00